

国内・海外

○印:国内関係 ☆印:海外関係

1日(木)○ 6月短観、大企業製造業4四半期連続改善

日銀が6月短観を発表。大企業製造業の業況判断指数(DI)はプラス14と4四半期連続の改善で2年半ぶりの高水準。大企業非製造業はプラス1と5四半期ぶりのプラスに。

1日(木)○ 路線価、6年ぶりに下落

国税庁が21年分の路線価(1月1日時点)を公表。全国の平均変動率は前年比マイナス0.5%で、6年ぶりに下落。新型コロナ禍の影響で、観光地と商業地で下落傾向が顕著に。

14日(水)☆ 欧州連合(EU)、35年にガソリン車禁止へ

EUの欧州委員会は、35年にガソリン車の新車販売をハイブリッド車も含めて事実上禁止する案を発表。脱炭素が進んでいない国からの輸出品に課金する「炭素国境調整措置」の導入案も示した。

23日(金)○ 東京五輪、開幕

新型コロナの感染拡大で史上初の1年延期となった第32回オリンピック競技大会東京大会(東京五輪)は、23日に国立競技場で無観客の開会式が行われた。

27日(火)○ 北海道・北東北の縄文遺跡群、世界文化遺産に登録決定

ユネスコの世界遺産委員会は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を決めた。約1万5千年前にさかのぼる、農耕以前の定住生活のありようや複雑な精神文化を示すものとして評価。

県内・九州

★印:県内関係 ●印:九州関係

14日(水)★ 国文祭の本県開催内定

文化庁は14日、国内最大の文化の祭典である国民文化祭(国文祭)の2025年度(第40回)開催地に本県が内定したと発表。本県では初開催となる。

16日(金)★「国境の島 壱岐・対馬・五島」日本遺産の重点支援地域に

文化庁は16日、日本遺産に認定している「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」について、認定継続としたうえで他地域のモデルとなる重点支援地域に選んだと発表した。

21日(水)★ 波佐見ミュージアムが開館

波佐見町が民間の日本家屋を購入して整備した町歴史文化交流館「波佐見ミュージアム」がオープンした。同町が収蔵する文化財を展示するほかカフェや休憩スペースも併設。

26日(月)● 奄美・沖縄、世界自然遺産登録

ユネスコの世界遺産委員会は、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」の世界自然遺産登録を決めた。亜熱帯の森の生物多様性を評価。国内の自然遺産登録は5件目。

30日(金)★ 長崎大学BSL4竣工

長崎大学が建設を進めていた、エボラウイルスなど危険な病原体を研究する施設「バイオセーフティレベル(BSL)4」が30日に完成した。研究目的のBSL4としては国内初。